

# (財)川崎市国際交流協会設立20周年記念コンサート特集

～20年を経てはじまる、新たな交流のプロローグ～

座談会

平成21年7月29日 於：川崎市国際交流センター



座談会出席者(コンサート出演者)



**ヴァイオリン  
アテフ・ハリム**  
カイロ生まれ。13歳で単身パリに渡り、パリ音楽院卒業。フランス国立管弦楽団でコンサートマスターを務め、その後ソリストとして活躍。バーンスタイン等有名指揮者の元での演奏多数。(最も知的で輝かしい音楽家)と称賛される。



**指揮(当日はピアノを演奏)  
アントニン・キューネル**  
チェコ共和国生まれ。プラハ国立音楽院でピアノ、打楽器、指揮法を学ぶ。1973年武蔵野音楽大学客員教授として来日。1976年には、新星日本交響楽団常任指揮者に就任。現在、数々のオーケストラを指揮。



**リコーダー  
村山 直子**  
東京出身。桐朋学園大学古楽器科リコーダー卒業。ヴィジュアルディ協奏曲収録CD好評発売中。2000年川崎50周年記念コンサートで成功をおさめ、バロックからポピュラー音楽まで幅広いレパートリーで活躍中。



**コンサート司会  
小澤 幹雄**  
早大仏文科中退。フリーの放送タレント。FM東京「小澤幹雄のやわらかクラシック」では全国にファンを生む。NHK-FMラジオ「芸術ジャーナル」などの傍ら、司会、講演、エッセイ随筆などで活躍中。



**ミュージックコーディネーター  
宇田川 清史**  
東京出身。音楽普及活動家。音楽プロデューサー。ジョン・チャヌヴァイオリン小曲集「ニーン21世紀への祈り」、佐藤宏之指揮「プラムストイツレクイエム」などCDをプロデュース。

座談会出席者：  
川崎市国際交流協会前会長 國安正昭  
川崎市国際交流協会 事務局次長 猪瀬敦(司会進行)



## —コンサートの趣旨について

**國安:** 節目の年を迎え「芸術のまちづくり」と「地域の国際交流」を推進するため、映像と音楽による記念コンサートを11月21日に麻生市民館ホールで開催します。ここを選んだ理由は交通の便がよく、より多くの方が入場できること、国際交流協会が川崎市全体のものであることを知っていただきたいからです。地域には日本映画学校・昭和音楽大学もあり、麻生区役所もご協力頂けることになりました。また、交流協会の活動を紹介する映像も作っておりますので、市民の皆様へ理解を深めて頂けるものと考えています。

## —コンサートへの抱負について

**宇田川:** 今回は、20周年記念にふさわしい今までのとは違った形式を考えています。交流協会の活動紹介映像や日本で活躍しているアーティストの演奏にトークを交えたり、指揮者のアントニン・キューネル氏にピアノ演奏をお願いして、友人のチェリスト山岸氏と共演して頂くなど、楽しいコンサートにしたいと思っています。構成は第一部は式典・映像で見る国際交流協会の活動。第二部を「キューネルさんと仲間達」とし、キューネルさんのピアノソロや村山さんのリコーダー、山岸さんのチェロ演奏を考えています。また、韓国のJisongさんの歌も計画しています。第三部ではフランスのアテフ・ハリムさんの熱いヴァイオリン

演奏を楽しんで頂きたいと思います。根底には、人が集う、川崎市に集う、そこに文化が生まれる『20年を経てはじまる、新たな交流のプロローグ』をテーマとして演出したいと考えています。司会は、川崎市に縁の深い小澤幹雄さんをお願いしています。きっとアーティストそれぞれの良さを引き出してくれるはずですよ。

## —出演者の現在の活動状況について

**アントニン・キューネル:** チェコのブラハから武蔵野音楽大学の招きを受け客員教授として来日し、岐阜教育大学や大阪学芸大学でも指揮法などを指導してきました。今は、東京や神奈川、関西その他各地のオーケストラ

から要請を受け、指導・指揮をしています。今回の記念コンサートでは、村山さんのリコーダーのピアノ伴奏を、山岸さんとはピアノとチェロのデュオを考えています。

**アテフ・ハリム:** 16年前に来日し、全国でコンサートをしています。人とのコミュニケーションを大切に、「赤ちゃんとお母さんのためのコンサート」や老人ホーム・病院での活動もします。音楽は国や世代を超え、すべての人がわかりあえる「言葉」だと思います。

**村山 直子:** 宇田川先生とおつき合いが長く、キューネルさんやハリムさんと区役所コンサートなどで一緒に、学ばせて頂きました。今回はバロック時代のコンチェルトを考えています。リコーダーは室内楽が主ですが、最近は珍しいラテン音楽やジャズなどを手がけ、ライブハウスやレストランなどにも演奏活動を広げています。

**宇田川:** ハリムさんは「ベートーベン・コンサート」で、ヴァイオリン・ソロを演奏していただき、聴衆から素晴らしい反応がありました。キューネルさんは妥協を許さない指揮者ですが、川崎のコンサートでは子どもたちに熱い気持ちで接し、楽しい演奏会になりました。今回はオーケストラがないので、本職ではないのですが、ピアノ演奏を計画しました。

**小澤 幹雄:** 身近で兄(小澤征爾)の音楽を自然に見聞きしていたこともあり、音楽は大好きですが、専攻したわけではなく素人です。音楽愛好家のひとりとして、今回のコンサートも市民の皆様と音楽を楽しみたいと思います。

## —「音楽と国際交流」について

**ハリム:** 音楽は世界共通の言葉です。交流協会さんが、20周年記念にコンサートを選んだのは正解だと思います。言葉が通じなくても音楽のエネルギーを通して心のコミュニケーションが出来、世界の人々となつなげることができます。

**村山:** 色々な国に様々なジャンルの音楽がありますが、辛いときに生まれた音楽に心打たれるような気がします。音楽はプロだけのものではなく皆のもの、世界のものであります。

**ハリム:** エネルギーが一番大切です。素晴らしいミュージシャンはお客さんにエネルギーをあげられます。

**キューネル:** 私は親戚や周りの人達のお陰で、日本で音楽を続けられました。良い音楽をつくるためには時間をかけ、苦勞するのが私のやり方です。オーケストラの団員には厳しいので嫌われますが、お客様には喜ばれます。(笑)

**宇田川:** キューネルさんは限られた時間内で、最大限努力しています。妥協を許さないのが団員には大変ですが、作曲家からは喜ばれます。(笑)

**小澤:** 音楽ほど国際交流にふさわしいものはないと思います。作家は作品を翻訳しなければ読んでもらえないけれど、音楽は演奏すれば世界中どこでもすぐに分かってもらえますから。

—本日は有り難うございました。11月21日は素晴らしい演奏が聞けるのを楽しみにしています。  
(取材・文:編集ボランティア 福地直子、伊東都)

座談会出席者以外のコンサート出演者



**チェロ  
山岸 宜公**  
東京芸術大学にてチェロ専攻。イスラエルフィルなどを経て、1979年日本フィルハーモニー交響楽団に首席奏者として再入団。その後、東京交響楽団、新星日本交響楽団などの首席奏者を務める。



**ピアノ  
伊藤 めぐみ**  
東京芸術大学、ポーランド国立ワルシャワ・ショパン音楽院卒業。オーケストラとの共演(新星日本交響楽団、ワルシャワ室内管弦楽団、スロバキアフィルハーモニー管弦楽団等)、ソロリサイタルを精力的に行っている。



**ボーカル  
Jisong**  
韓国出身。昭和音楽大学大学院でオペラを専攻。アジア交流音楽祭2009に出演。2009年度「しんゆり・芸術のまちづくり」イメージアーティスト。伸びのある歌声を活かしつつ、普遍性のあるポップス作りを目指す。

記念コンサートにむけての思いや抱負、またご自身についてもお聞かせ下さい。

—歌手を志したきっかけとオペラ専攻について  
**Jisong:** 韓国でも大学時代、クラシック音楽を勉強していましたが、日本の「藤原歌劇団・ソウル公演」を観てとても感動したという経緯もあり、日本に来て昭和音楽大学大学院入学後オペラを勉強することにしました。学校側との企画でレコード会社による産学協同プロジェクトがあることを知って

## クラシカル・ポップスの歌姫Jisong(韓国)さんに直撃インタビュー

オーディションに応募したのがきっかけで、クラシカル・ポップスという分野からCD(Debut Single「二つの宇宙」)を出しました。クラシックとポップスを融合したジャンルを問わない歌に魅力を感じるので、そんな歌が歌えるような歌手を目指しています。基本的には、クラシック・ミュージカル・ポップスと何でも歌える「サラ・ブライトマン」が好きで、目標としています。—「2009年しんゆり芸術のまち」イメージアーティストに選ばれたお気持ちは?  
**Jisong:** この、「新百合ヶ丘」というところは綺麗な街で、日本に来て「最初の地」ということもあり、とても縁を感じました。—「音楽と国際交流」についてどのようにお考えですか?

**Jisong:** 私が歌を歌うことによって、みんなの心が一つになり、それが「国境を越えた輪」になっていくことを願って、自分の与えられた立場で頑張ります。

—今後の活動について  
**Jisong:** 「2009年しんゆりイメージアーティスト」としてのPR活動や、秋からはアルバム制作に入る予定で、一日でも早く皆さんのお手元にお届けできるように頑張ります。

CDアルバムが待ち遠しいです。11月のコンサートで素晴らしい歌声が聞けるのも楽しみです。お忙しいところ、有難うございました。  
(取材・文:編集ボランティア 伊東都、福地直子)

## ご招待

# (財)川崎市国際交流協会設立20周年記念コンサート

2009年11月21日(土) 15:00~17:00

- ◎会場:麻生市民館ホール(小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩5分・川崎市麻生区万福寺1-5-2)
- ◎対象:川崎市内在住・在勤・在学の方(小学生以上)
- ◎定員:1000名
- ◎申込:往復はがきに①氏名(ふりがな)、②住所、③電話番号、④希望枚数(2枚まで)記入。

10月15日(木) 消印有効

## 応募方法

### 第1部 総司会 小澤幹雄氏 映像で見る 国際交流協会の活動

- ◎協会設立20周年挨拶、祝辞
- ◎協会活動紹介映像の上映

### 第2部 世界で活躍する アーティストの共演

- ◎Jisong(ヴォーカル) ◎山岸宜公(チェロ)
- ◎アントニン・キューネル(ピアノ)
- ◎村山直子(リコーダー)

### 第3部 世界的アーティスト による演奏とトーク

- ◎アテフ・ハリム(ヴァイオリン)
- ◎伊藤めぐみ(ピアノ)